

シグマ委員会核融合核データ・ワーキング・グループ

N-14 評価サブWG 会合議事録

開催日時 昭和60年9月9日 13:30-17:00

開催場所 原研東海研221号室

出席者 浅見 哲夫, 中島 豊 (原研)
神田 幸則 (九大)

配布資料

1. $^{14}\text{N}(n, n')$ の角度分布, 断面積の計算結果 (中島)
2. GNASH による反応断面積と放出 γ 線の計算結果 (浅見)
3. ^{14}N 粒子放出断面積評価-I (神田)

議 事

1. 前回議事録確認
2. (n, n) 評価 (村田氏からの伝言)
R-matrixの簡易コードを修正の上使用。 σ_t に合うようにパラメータ決める。低い En では $\sigma_t = \sum_i \sigma_i$ で求める。
3. (n, n')
資料1の説明。一部は実験と計算合うが, 競争過程入れると $\sigma_{n'}$ は低くなり過ぎる。角度分布は, 8.5 MeV 以下は等方または CASTHY の計算, 8.5 と 14 MeV は実験値, この間は実験と計算を使って内挿する。
4. GNASH の計算の紹介 (資料2), パラメータの問題, 反応系列, 競争反応の入力法について議論した。
5. 粒子放出反応のうち, 実験値がない反応は GNASH の計算 (浅見氏) の結果を待って検討する。
6. 種々検討の結果, 次のことを確認した。

- (1) GNASHの計算を優先し、CASTHY への入力データもその結果を待つ。
- (2) (n, n') の角度分布の一部は既存処理コードで内挿を試る。
- (3) resonance-like の構造は σ_t と整合するように考慮する。

7. 次回10月7日 東京予定

以 上